

【新宿区】

■実施日時：令和4年10月17日（月）10：00～12：00

■参加部署：生活福祉課 生活支援係、生活支援相談窓口
高齢者支援課 高齢者支援係、高齢者相談第一係
四谷保健センター、勤労者・仕事支援センター

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

（ひきこもり支援の中心部門）

・福祉部生活福祉課
専門の窓口を設置するのではなく、「生活困窮」「就労」「障害」「高齢者」「こころとからだ」「子ども教育」など、分野ごとの窓口を設置。相談の内容に応じて連携し適切に支援につなげている。※令和5年11月1日より、生活福祉課生活支援係内にひきこもり総合相談窓口を開設
・プラットフォームでは、庁内の関係部署を構成員とする、ひきこもり庁内連絡会により連携を図っている。

（区の動き）

・「ひきこもりに関わる実態調査」
令和4年4、5月に実施。7月に報告書が完成。
・ひきこもりに関する相談窓口のチラシを作成・配布。
・地域支援を大切にしている保健師が多く、生活福祉課と連携が取れている。

（勤労者・仕事支援センター）

・区民向けの就労支援事業。
・障害者、高齢者、若年者、女性などに対する総合的な就労支援などを行っている。

（若年者就労支援室（あんだんて））

・新宿区内在住で15歳から概ね39歳までの若者を対象に、就労や進学など自立にむけた相談や支援を行っている。
・若者支援を行うNPO法人等から構成する、公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センターが運営

（新宿区子ども家庭・若者サポートネットワーク「若者自立支援部会」）

・ハローワーク、新宿サポステ、あんだんて、四谷保健センターなどが構成団体。
・年2回会議を行い、その中で情報共有や支援検討を行っている。
・地域若者支援協議会を兼ね備え、虐待防止なども行っている。

（家族会）

・NPO法人 FIRST STEP（ファーストステップ）
今年度からNPO法人になった際の事業周知をきっかけに、実際に現場を見学させてもらうなど現在関係性を構築している。
本法人では、親の勉強会のほか居場所事業などにも取り組んでいる。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

・先行自治体の例を紹介しながら、家族会の立ち上げと、その後の協力方法を情報共有

■実施後のひきこもりサポートネットと自治体の連携

・年度末に、該当担当者が集まりひきこもりサポートネットにて意見交換会の実施